

サロンあべの

VOL.176

エンジョイライフ

自分で決める好きな服、快適な服

へサロン・あべのの1月の出会い

プロフィール

平成13年1月20日(土)へサロン・あべのの1月の出会いは、



布工房「我流彩彩」で、その人
にあった服を作っておられる小
野瀬氏におしゃれについてお話
を伺いました。

京都に生まれ、大阪の大学に
入学して親元を離れる。その間
に幅広く多くの人に出会う。20
歳の頃、障害者劇団「態変」に
関わり障害者の介護支援に入る
ようになった。大学卒業後は、
演劇活動に従事し、30歳で服工
房「天衣夢縫」で注文服の仕事
をする中で、障害を持つ人や高
齢の人の服も作るようになった。
シニアファッションショー「ピ
タミンファッション」などを企
画。現在は、布工房「我流彩彩」
を営む。

おしゃれは心の自立

障害者の自立支援に関わる中
で、着替えなどの日常生活に入
っていくと、衣服の種類が少な
いことに気がついた。親が買っ
たジャージが主で、一緒に外出

しても店頭の衣服に目を向けなかった障害者も自立生活が長くなると、自分で決めることが多くなってくる。おしゃれにも関心を持つようになり、きれいな色や楽しい柄を捜すことに興味を持つようになり、おしゃれは心の自立の表現と考えられる。

障害を持つ人から服の注文を受けて作る時は、その人自身の服のイメージを聞き、それをふくらませて想っている服を作り出す。そして、仮縫いの時にその人の着やすさを考え、フィットさせて仕上げる。服のリホームも引き受けている

おしゃれな2人

注文服を作るようになって、印象に残っている2人を紹介。

○ユキちゃん――

彼女は西宮で自立生活をして

いる障害者。着道楽で、バイタリティーがあり、おしゃれが趣味。洋服のデザインを次々と提案してくる。遊び心があり、自分の欲しい色や形がはっきりしている。介護支援者探しは、彼女曰く「ナンパ」と同じと言っていて、おしゃれもその武器にしている。

○90歳のお婆さん――

おしゃれが大好きなお婆さんは、三宅一生やシティーボーイが好きで、ボーイズファッションまで視野に入れて自分のおしゃれを考えていた。作るこちらも彼女の希望を受け止めて対応した。パジャマに見えないパジャマを作ってほしいとか、ガウンを着たままで外へ出てもおかしくないものをとか……。自分の考えがはっきりしているので、デザインも一緒に考えていた。自分にとって何が必要か、何が

問題かを把握されていたことがすごいと感じた。

防寒&雨の日のファッション

小野さんから、参加者に防寒着や雨具について問いかげがあり、それぞれに話を伺った。

「杖を使用しているので、傘が持てない。レインハットをかぶり、魚釣り用の上下セットになっているカッパを着用。足首はアームバンドで留めたりしている」

「電動車いすでは、傘を持つことができない。膝にはビニールをかけている。靴はガーデニング用のものを履いている」など……。その他、レッグウォーマーや腕カバー、ビニール袋など、特に障害者用というものではなく、発送の転換をしてその人が使いやすいものを捜して着用してい

る。例えばスポーツ洋品店や魚釣りに用具店、バイク店などで自分に便利なものを見つけたという話も聞かれた。

服作りから感じたこと

おしゃれに関心を持っている人は、障害者であれ高齢者であれ、元気で生きる意欲があり、自立した生活を送っている。自分をよく知り、自分のことが好きなナルシストである。自分がかつこよくなるように考えて生活することは、大事なことと思う。そのために情報収集のアンケートを張り、その人なりのイメージを作り、それに対する願望を抱きとめていく行動を起こす。これは生きる意欲・意識の高揚につながっていると考える。おしゃれは自分の好みが出て、そこから自己発進の情報も表現で

きて、他との交流や出会いも生まれてくる。

参加者から自己紹介をかねておしゃれについて話を聞きました。

男性の多くはおしゃれにこだわりを持たないけれど、自分の趣味の世界でその人なりのおしゃれ心を発揮している意見がありました。

また、女性のおしゃれ心も日常生活に追われ流されがちだけれども、小綺麗に女性らしい気配りの中で光るおしゃれ心を出せば、という意見がありました。着る者のおしゃれ心は、その人となりの心のおしゃれ心に通じる奥深いものであること、それは生きる意欲の証しであることを感じた。1月の出会いでした。

参加者17名 (山村貴司)

おしらせ

<サロン・あべの> 3月の出会い

日時 = 3月17日 (土) 午後1時~4時

場所 = 育徳コミュニティセンター2階
(スロープ・車いすトイレあり)
[阿倍野区阪南町5-15-28]

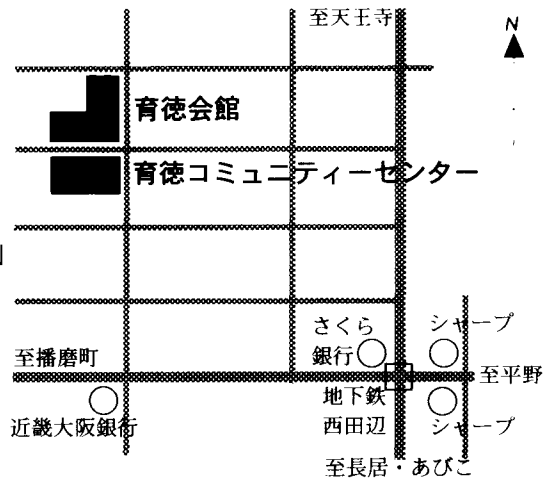
内容 = 「私、自分さがしの真っ只中です」
— 被差別部落に生まれ、
育ち、そして・・・いま —

パネラー = 岸下洋子氏

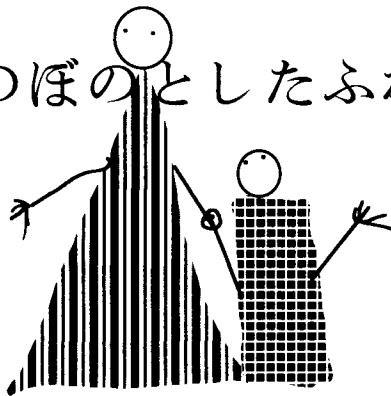
会費 = なし

お問い合わせ先 =

TEL 06-6691-1028 (富田)



ほのぼのとしたふれあい、いかがです。



これは便利。

一筆箋

1冊100枚綴 ¥150-

<サロン・あべの>の活動資金調達にご協力ください。

自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■9■

黒田隆之

アメリカの障害者たちは、自立生活運動の中で、介助関係を障害者主導で維持し、さらに専門家の管理に対抗していくために、「自立生活モデル」という介助関係のあり方を作り上げてきた。障害者が自己決定を行ったとしても、それが実現しないのであれば、主体的生活を作りあげることができない。自己決定という言葉は、それ自体が、自立生活と同義のように一人歩きしてしまうことが多いが、「自分の人生を自分でコントロールする」ということを考えるならば、自己決定したことの実現可能性こそ重要であることは言うまでもない。

	インフォーマルサポートモデル	自立生活モデル	医療モデル
管理するのは	家族	消費者	サービス供給者 (機関)
医者による 処遇計画	なし	なし	あり
看護婦による監督	なし	なし	あり
介助者	家族・友人	消費者が募集	派遣介助者
介助者の教育	形式的な教育はなし	消費者による教育	サービス供給機関による教育
費用の支払い	支払いはない	消費者から介助者に 直接支払われる	サービス供給機関 へ支払う
介助者の責任	責任はほとんどない (不明確)	消費者への責任	サービス供給機関 への責任
期待される役割	依存的な役割	消費者としての役割	患者としての役割
利用するサービス	政府からの援助なし	ソーシャルサービスの利用	ヘルスケアサービスの利用

出所: Gerben Dejong, Andrew I. Satavia, and Louise Bouscaren Mcknew, "The Independent Living Model of Personal Assistance in National Long-Term-Care Policy", *AGING AND DISABILITIES*, WINTER 1992. p. 91 の図をもとに筆者が作成。

上の表はインフォーマルサポートモデル、自立生活モデル、医療モデルの比較である。インフォーマルサポートモデルは、家族や友人による介助を利用する際に考えられるモデルであり、医療モデルとは、医療サービスのみをさすのではなく、医師やソーシャルワーカー等の専門家もしくは専門機関の管理下で介助サービスが提供される場合のモデルである。自立生活モデルと医療モデルの違いを中心に、自立生活モデルについて一般的に説明されていることをまとめると次のようになる。

第一に異なる点が、介助関係を誰が管理するのかという点である。医療モデルではサービス供給者(機関)すなわち介助者が管理するが、自立生活モデルにおいては、介助サービスの消費者(consumer)としての障害者が介助関係を管理する。

介助者については、医療モデルでは公的機関や民間のサービス提供機関から派遣されるかもしれないが、自立生活モデルでは障害者自らが自分の介助を行うことが可能な介助者を募集し契約(雇用関係)を結ぶ。介助者が自分の

介助に適さない場合には、解雇して別の介助者を探すことも可能である。介助者の教育については、医療モデルではサービス供給機関が雇用している介助者を教育するが、自立生活モデルでは、障害者自らが雇用した介助者を教育する。

介助サービスにかかる費用をどのように支払うかということに関しては、医療モデルでは、介助サービスにかかる費用を障害者が直接介助者に支払うのではなく、サービス供給機関に支払うかもしれない。何らかの公的機関から直接サービス提供機関に支払われ、障害者が関与しない場合もある。介助者には所属するサービス供給機関から賃金が支払われることになるため、介助者は介助の内容や質に関して、障害者に責任を負うのではなく、自分が雇用されているサービス供給機関に負うことになる。そして、サービス供給機関が専門家の立場から障害者に対して介助サービスの内容や質の保証を行う。

自立生活モデルでは、障害者と介助者の個人間に契約（雇用）関係があるため、障害者が直接介助者に賃金（介助費用）を支

払う。この場合だと、介助サービスの内容や質に関しては介助者が障害者に直接責任を負うことになるため、自己決定が尊重されやすくなる。

障害者が求められる役割は、医療モデルでは依存的な患者の役割を期待されるが、自立生活モデルでは介助サービスの消費者としての役割が期待される。

以上が、自立生活モデルの簡単な説明であるが、ここで述べた消費者としての役割が、介助関係における権力関係に変化を及ぼす力を与えることになる。

自立生活モデルにおいては、障害者が消費者という役割を持つことによって、障害者自身が介助関係を管理することを可能にすると考えられている。これは、自立生活運動が、ラルフ・ネイダーらに象徴される消費者運動、つまり消費者が選択するという行為をとおして商品やサービスを管理するということ考え方の影響を多大に受けているからであると言われている。日本で自立生活運動が議論されるときは、消費者という言葉を用いずに、当事者や利用者という言葉でそれを代替しようとする傾向が見られ

る。当事者主導という言葉を用いるだけでは、自立生活モデルの基盤を構成する消費者としての権利意識を見落としてしまうことになる。自立生活運動は、対等な介助関係をもつために、消費者としての権利を利用しているのである。

考えさせられる

毎日、お寒うございます。お元氣そうな様子なによりでございます。

「サロン・あべの」紙ありがとうございました。お食事会の楽しそうな様子、私も一度お食事をしたくなりました。

黒田さんの記事、障害者の方々と介護者との関係は、障害者の方ばかりでなく、七十歳上の私には他人事とは思えません。いろいろ考えさせられます。

寒さに向かいます。お体大切に。

大西 暉子

★頭の上のハエの話

むかしむかし、頭の上にもいつもハエが一匹とまっている人がおりました。ハエは静かにとまっておりましたから、その人はハエに気づきませんでした。

その人と親しい人は、ハエに気づき、手で追うこともありましたが、ハエは必ず戻ってきましたので、皆もう無駄だと思って諦めていました。親しくない人は、ハエに気づいても何も言いませんでした。それほど大事なことだとは思わなかったからです。

そういうわけで誰も、その人の頭のハエのことは話しませんでした。そのハエは賢くて、その人が鏡の前に立つときは、ちゃんと離れていました。こうしてハエ



は、その人の頭に何年も住み着くことができずました。

その人は心の優しい人だったので困った人の相談にのる仕事につきたいと思いましたが。それで、そういう相談所を訪れて、仕事があるかどうかを聞きました。

相談所の人は、その人を気にいって雇ってくれました。しかし数日たつと「もう、来なくていいですよ」と言いました。理由を聞いても、はつきりとは教えてくれませんでした。

その人は他の相談所を訪れました。そしてまた雇ってもらいました。しかし、やはり同じように数日たつと断られました。理由を聞くと言葉を濁されました。

三箇所目の相談所でも同じでした。理由を聞いても答えてくれないので、その人は涙を浮かべながら、これまで何度も同じように理由を教えてもらえないままに断られてきたことを説明しました。

すると、その人は、たいへん申し訳

好評のエッセイ!

岡知史著

□ 知らされない愛について

□ ほんの少しの神に近い部分

◎ どちらも・700円

06・6691・1028 富田まで

なさそうに言いました。「あなたが悪いのではありません。頭のハエが悪いのです。相談に来た人は、あなたの頭の上のハエが気になって、そればかりを見ていました。」

その人は自分の耳を疑いました。いまままで自分の頭にそんなハエがとまっているなんて考えてみたこともなかったからです。そういえば幼いころに、そんなことを言われたような記憶がありました。

しかし、それは遠い過去のことだと思っ
ていました。

その人は大きなショックを受けながら、
鏡の前に立ちました。しかし、ハエは鏡
に気づくと、その人から離れました。そ
の人は自分の頭にはハエがとまっていな
いことを確かめると、自分が騙されてい
るのではないかと疑い始めました。

思い悩んで、その人は山に住む仙人を
訪ねました。仙人は、その人の頭を見て
「たしかにハエはいる」と言いました。

そして「誰かの相談を受けるときは、こ
の鏡に自分の姿を映しなさい」と言っ
て、透明な鏡を手渡しました。

言われたとおりにその鏡を使うと、ハ
エは、その人から離れました。また鏡は
透明ですので向かいあう相手の姿も見
ることができました。

これでハエに悩まされることなく、そ
の人は相談の仕事ができるようになりま
した。透明な鏡は相談活動をするその人
には無くてはならないものになったとい
うことです。

(知)

春時雨

「春雨じゃ 濡れて行こう」

というのには、二月ではまだ寒
くて風邪をひいてしまう。

「春雨」は、文字通り「春に
降る雨」であって、言葉のひび
きからどこもなくほんわりと暖
かいものを感じる。だが同じ雨
でも「時雨」と聞いただけで冷
たくて自然と体が震えてくる。
それというのも「時雨」は冬期
に降る雨で、俳句でも冬の季語
になっているからだ。もっとも
「時雨」に「春」がつくと、「春
雨」と同じようにいくら濡れて
もそんなに冷たくは感じない。
それだから「春時雨、いや、春
雨じゃ、濡れて行こう」といっ
ても決しておかしくはない。

話は違うが、正月三カ日に降

晴れのち晴れ

(29)

稲垣 恵雄

る雨や雪のことを御降(おさが
り)というらしい。私は一月二
日の午後から外出しようと思っ
て電動車いすで玄関を出た。す
ると頭から顔にかけて冷たいも
のが当たるではないか。ついさ
つきまで晴れていたのに、いつ
のまにやら墨を流したような雲
が空いっぱい広がっていた。

正に御降だったが、数分ぐら
いであがり、まもなくして雲間
から冬の陽さがさしこんでき
た。それでそのまま外出するこ
とにした。

それにしても「御降」とは何
とぬくもりが感じられ、上品な
言葉だろう。正月三カ日だけ
なく、「春時雨」が降る時でも
「御降」だと思えば、いくら濡
れてもよりいっそう暖かく感じ
られるのではないだろうか。

植物あれこれ 第二十五回

山口康二郎

④ラベンダー
ハーブ(4) しそ科のハーブ

ハーブはよく知らないという方も、ラベンダーを知らない人はいないくらい有名な花なのは、北海道富良野のラベンダー畑に負うところが大きいと思います。

ラベンダーの語源は、ラテン語の「洗う」で、衣服を洗ってすすぐときに、ラベンダーで香りをつけたといわれています。一口に、ラベンダーといっても、その種類は二〇数種類ありますが、もつともよく知られているのはイングリッシュラベンダー(真ラベンダー)あるいはその交雑種です。

フレンチラベンダーとも呼ばれるストエカス種は、半耐寒性で、紫色の花の先端に、独特の苞をつけます。葉っぱに鋸歯のあるフリンジドラベンダー(デンタータ種)は、寒さに弱い品種。ウーリーラベンダー(ラナータ種)は、軟毛に覆われた白っぽい葉

が特徴です。ラベンダーというと、紫の色を連想しますが、ホワイトラベンダーという別名を持つナナ・アルパは白い花を、ロドンピンクは淡いピンクの花など、色も芳香も多種多様です。

日本には昭和の初めに北海道で栽培が始まりましたが、特にイングリッシュラベンダーは開花期の初夏に雨が少なく涼しい気候が必要で、日本では北海道や山梨県など、



高原地帯を除いては栽培は難しく、関東以南では非常に困難です。ごく最近品種改良により、関東などでも育つスーパーセビリアンブルーやスーパーサファイアブルーなどの品種が作り出されました。

しかし、もともと多湿を嫌うために、水捌けの良い土に植え、こまめに整枝を行い、夏は風通しの良い日陰に入れるなど、きめ細かい世話が必要です。

ラベンダーはきわめてリラックス効果の高いハーブです。ストレスを和らげ、中でも、不眠症に効果抜群で、眠る前に二、三滴のハーブオイルをたらしただけで、ぐっすり眠りにつけるほど強力だといわれています。

また、殺菌力が強く、体内の抗菌効果のみでなく、外用薬として火傷、皮膚炎、捻挫、打ち身などの腫れや痛みなどにも効果があります。

乾燥させたラベンダーをタンスの中に入れておくと、防虫剤のかわりになります。

また、畑に植えておくと他の花の虫除けになります。

初めてラベンダーを栽培しようと思っておられる方に、お薦めはレースラベンダーです。耐暑性があり、比較的容易に育てられます。しかし、あくまでも高温多湿には注意をすることは当然です。



感謝

カンパ、切手、はがき、冊子、お茶菓子等のご寄贈を、また、サロングッズのお買い上げ、ありがとうございました

大阪大淀ロータリークラブ、

大和田弓子、小野 潤、笠原美和子、

風 智恵子、瀧川英子、田村昌子、

寺岡富子、藤沢八重子、松村順子、

松本妙子、宮崎徹朗、和田保子、

吉原和郎、その他の方々、

ききみみずきん

甘いものはほどほどに

阿倍野区身体障害者団体協議会婦人部の行事の一つとして、毎年健康講座が開講されます。

今年のテーマは「甘いものはほどほどに」で、砂糖の一日の摂取量は40〜50gくらいが良い。とり過ぎると肥満の原因となり生活習慣病（糖尿病・肥満・高脂血症）を引き起す。砂糖だけでなく糖分は、果物やアルコール、清涼飲料水などにも多く含まれており、それを消化するのにビタミンB1が必要。これが不足すると疲れやすく脚気症状が出る、など身につまされる話を聴きました。が、ストレス解消にはお茶とお菓子のやつたいムも大切との話に、ホッと肩の力が抜け、気が楽になりました。

した。女性が一日に必要なカロリーは1600キロカロリー前後。シヨートケーキは340キロカロリー、これを消費するには普通歩行で200分要するそうです。歩行運動にゆだねられない身体では、やはり糖分摂取の内容と量に気をつけなくてはと、考えました。この講話終了後、区保健栄養推進協議会の協力で、かぼちやのスープと豆腐と野菜のチャンプルー、きのご飯の試食会がありました。このきのご飯は、水と牛乳半々で炊き込まれていたのですが、まったくその匂いも感じず、牛乳苦手の私ですが、骨粗鬆症の予防にもなる炊き込みご飯を美味しくいただきました。(け)

美智子のこんな話

岸田美智子

前回、掲載させていただいた、ホームヘルプセンター・ホップでの介助者とのいろいろなトラブルをなるべく避けるため、介助者の皆さんに気をつけてほしいことや、守っていただきたいことなどをまとめてみました。これを読まれた方々からのいろいろなご意見などをお聞かせください。

岸田 美智子

介助者の心得

介助の基本的な姿勢として

- ・ 介助に入る時は、活動しやすい服装と履物にしてください。アクセサリー類ははずし、爪は短く切ってください。長い髪は束ねてください。
- ・ 介助に入る時間や場所は、正確に守ってください。少しぐらいの遅れだと思っても、トイレや事故の場合など考えられまので、必ず厳守してください。(やむをえず10分以上遅れる場合は必ず障害者に連絡してください)
- ・ 基本的に介助のキャンセルはしないでください。
- ・ 何かトラブルが起こった時は、障害者と十分話し合って行動してください。
- ・ 体調が悪くなった場合は無理をせず、前日までに利用者と事務局に連絡してください。
- ・ ニードにそった介助を
- ・ 障害者の言葉は言語障害で聞き取りにくくても、分かるまで聞き返すなどして正確に聞き取ってください。
- ・ 障害者の好みや個性をしつかり受け止めそれを尊重した介助を行うように努めてください。
- ・ 障害者のいろいろな場所でのやり方や、こだわっているものなどを大切にしながら介助してください。
- ・ 介助者の信条や宗教などを障害者に強要しないでください。
- ・ 就寝や起床などの生活のリズムは障害者に合わせてください。
- ・ 介助の終了時間が急に伸びたりする時がありますが、できるかぎり障害者の希望に沿ってください。
- ・ プライバシー
- ・ 障害者の個人的な生活の場に入っていくことになるので、障害者のプライバシーは守ってください(他の場所で言いふらしたりしないこと)
- ・ 障害者のお金の出し入れは、必ず障害者の目の前で確認しながら行ってください。

介助者の個人的行為はしない

・介助者が喫煙する時は、障害者の許可を得るか、離れて吸ってください。

・泊まり介護などの時に、障害者の許可なく出かけたらしめないでください。

・障害者から離れて行動する時は、必ず障害者に声をかけるか許可を得てください。

・飲酒介助はやめてください。

その他

・食事介助などの前には、必ず手を洗って衛生に注意をしてください。

・介助は基本的に人間関係の上に成り立つものなので、約束事や社会的なルールは守ってください。

・障害者が精神的に落ち込んでいる時や、体調の悪い時など、介助者に指示を出しにくい時があります。その場合、普段の介助より介助者が判断して、介助をしなければならぬ時があります。

・雇用関係はあるものの、介助する――さ

れる――という上下関係になりやすく、

介助者は社会的、また能力的にも差別する側になりやすい状況にあるので、注意してください。

・障害者の要望や介助内容によっては、介助者の能力や技術が要求される場合があります。その場合、必要な知識や技術を身につけることに努めてください。

連絡先

自立生活センター・

MYIDDOくまいどく内

ホームヘルプセンター・ホップ

(担当||鈴木)

TEL〇六―六六九四―五二二九

(午前十時〜午後七時)

〒五五八―〇〇〇二

大阪市住吉区長居西一―九一十二



朗読テープの案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一七五号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

I (サロン・あべの)紙は、第一号より一七五号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は二二〇分テープ二本)

II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」(九〇分テープ二本十二二〇分テープに収録)

III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)

IV 「ラジオたんば」放送『(サロン・あべの)平成七年五月の出会い』放送分(三〇分)

V エッセー集「逃げた『ヨナ』くボランティア活動の周辺」(岡本栄一著||糸でんわ音訳)

VI 「キミたちだけじゃ困るんだく身障者だけで旅した十余年」(山田誠1995・2・22著 ||糸でんわ音訳)

VII 「金子みすずへの旅」(島田陽子著・九〇分テープ二本||糸でんわ音訳)

VIII 「タヤけ空のオニヤンマ」(牧口二著・九〇分テープ四本||糸でんわ音訳)

IX 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本||糸でんわ音訳)

X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本十二〇分テープ||糸でんわ音訳)

XI 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修||大阪市立天王寺図書館制作)

XII 「知らされない愛について」(岡知史著・九〇分テープ二本||ぼけっと音訳)

いずれもご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田までお申し出ください。

(☎〇六・六六九一・一〇二八)

イギリスからの贈り物

Wishing you every gift
of the season,
every joy of the heart,
and every blessing of God's love.

To

Keiko
Love from Margaret
Rowler

"Every good gift and every perfect gift is from above, and cometh down from the Father."
JAMES 1:17

季節のあらゆる贈物、
心のすべての喜び
神の愛の祝福を祈って、
慶子さんへ
愛を込めて マーガレットより

良い贈り物、完全な賜り物は、上から、
光の源である御父より来るのです。
ヤコブの手紙 第1章17節

訳：林 正弘



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」3月の出会い

日時：3月18日(日) 午後1時30分～午後4時
場所：淀川区民センター「やすらぎ」
大阪市淀川区三国本町2-14-3

内容：それは出会いから始まりました
～自分自身が楽しめるボランティア活動を
しましょう～

パネラー：梶田清一氏(池田市ボランティア推進会長)

会費：なし

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー)
☎06-6394-2900

E-mail: kubota53@mbxinet-osaka.or.jp

■「サロン・ひらの」3月の出会い

日時：3月24日(土) 午後1時30分～4時
場所：にこにこセンター3階
大阪市平野区平野東2-1-30

内容：未定

会費：未定

申し込みと問い合わせ先：平野区ボランティア・ビューロー
大西 ☎06-6795-2200

■「サロン・にし」3月の出会い

日時：3月10日(土) 午後1時30分～4時
場所：西区ボランティア・ビューロー室
大阪市西區北堀江4-5-14 6階(西区役所隣)
地下鉄＝西長堀駅4-A号出口からすぐ
市バス＝地下鉄西長堀駅からすぐ

内容：みんなで、昔なつかしい、手作りおもちゃに挑戦!
PART 2
～制作後はティータイムとレクリエーションゲーム
で楽しい交流会です～

会費：なし

問い合わせ先：宮脇 ☎06-6537-0241

■「ウイズ東淀川」3月の出会い

日時：3月11日(日) 午後1時30分～4時
場所：東淀川区民会館4階
大阪市東淀川区東横路1-4-53
☎06-6379-0700

内容：心に光を求めて
戦争生明者の自分史(共著)

パネラー：川人義明氏

会費：なし

問い合わせ先：鈴木昭二
☎06-6340-3082
FAX 06-6340-3012

■小さな友の会・西成しらの会

日時：3月8日(木) 午後6時30分～
場所：旅路の里
大阪市西成区萩の茶屋2-8-9
☎06-6641-7183

内容：～終わりに始める～ 「21世紀の良心」

パネラー：石川 洋氏(元参事)

会費：なし(ただし、カンパのご協力を)

問い合わせ先：小さな友の会
☎0724-22-0685(夜間のみ)
E-mail: tisanatomonkai@dl.pdx.ne.jp

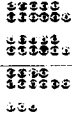
■「サロン・いたみ」3月はお休みです。

ヘルギーからのお便り

Dear Keiko,

Thank you so much for your nice card and beautiful words... I hope everything is alright with you and your family.

My art is still growing... More abstract...conceptual, minimal art...I use now metal pannels, covered with selfreflecting sticker (of signs we see in the street) and with aluminium frame. See drawing underneath that I designed for a project that will be exhibited in spring on a 12 m long white wall inside a cultural center near Brussels...



親愛なる慶子様

美しい言葉にあふれたすてきなカードをありがとうございました。

あなたとご家族の皆様のご無事を願っています。

私の絵は、なお成長し続けています。

一層、抽象的になってきました。そして観念的に、ミニマルに。

私は、街でよく目にする反射ステッカーでカバーしたメタルパネルと、アルミのフレームを使っています。

下の絵は、あるプロジェクトのために私がデザインしたもので、この春、ブラッセル近郊の文化センター内の12mの白壁に展示されることになっています。

ヘルト・ネイス

アメリカからのお便り

メリークリスマス

あなたにすばらしいクリスマスが訪れますように、そして、2001年が健康で幸せに満ちた年でありますように、

トラッキー家族一同

(ゲア、パティ、JJ、そしてスクラッピーも)

葉を同封しました。

Merry Christmas

May you have a great Christmas and may 2001 be filled with health and happiness. The Truckey Family. Gea, Patti, JJ & Scappy too!

Enclosed are book markers



サロンは心の財産

寒中お見舞い申し上げます。

「サロン・あべの」紙一七五号をお送りいただき、ありがとうございます。

二十世紀最後の十二月の出会いには、久しぶりに参加でき感無量です。ホンの近くに居ながらもアベノの若者のゾーン「フープ」は、行きたいけれど私にはなかなか行けない遠いところでした。それがサロンのお陰で、初めて行けました。それも楽しい「サロンの昼食会」に。久しぶりに出会えた皆様に温かく迎えられ、おいしかった創作料理の数々はいうに及ばず、二十世紀最



後の思い出として忘れられないひとときを過ごすことが出来て嬉しいでした。

やっと落ち着いてきた心臓と交代するうちに、年末には本来のリウマチが活動しはじめまして、どうしようもなく、お正月は娘の方に居りました。が、最近小康を得てホツとしています。したがって介護保険のお世話になっています。

黒田隆之氏の「自立生活理念を考える」は切実な問題でして、生きて行くためにはどうすればよいか？ 毎号楽しく拝見させていただいております。

また、稲垣恵雄氏の「晴れのち晴れ」を拝見しまして、私にもとても褒め上手な書の先生がおられ、お陰でうまく引つ張って来ていただいた思い出があります。懐かしい今は亡き恩師を思い出しました。「ほめる」ということは、ほんとうに大切な事だと今更のように思いました。

サロンは、私にとって大事な心の財産です。どうか今後とも何とぞよろしくお願ひいたします。

杉山 蔦枝

From EDITOR

編集後記

<サロン・あべの>とは？ そんな素朴ですが、とても難しい事について、昨年4月から9回連載しましたが、うへひら☆ゆきお氏の文章の巧みさもあって、「へエ そうか」「わかる、わかる」の言葉が聞けました。それで、新たにイラストを入れて冊子にまとめました。毎金曜日開設のサロン文庫が毎月の出会いの日にご覧になってください。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.176 [H.13. 2.17.発行] 定価¥100.
代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071
連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028
表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美瀬子
郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941
印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDE#2F TEL06-6719-8212